

凡例 問い合わせ(申込)先 HP ホームページアドレス Eメールアドレス

# 「区長への手紙」から

区民の皆さんからの意見・要望・提案などをお聴きする「区長への手紙」をご存じですか。区施設のカウンターに備えてある広聴はがきの他、区のホームページ(トップページ)に投稿フォームがあり、また、ファクス、投書箱でも受け付けています。

回答は、文書(郵送)、電話、Eメールなどで行います。匿名やEメールアドレスのみの場合など、住所、氏名が不明な場合は回答できませんのでご了承ください。

なお、お寄せいただいた内容を具体的に聴き取る場合もありますので、電話番号などの連絡先の記入をお願いします。

ここで、平成29年度前半に寄せられた「区長への手紙」の中から、いくつかを紹介しましょう。

**Q** 月島図書館がもう少し前から近ければいいなと思いつつながら利用しています。図書館で予約した本の受け取りや返却を児童館やシニアセンターでもできるようなして欲しい。人口増加傾向でもあり、勝どき・晴海エリアでもニーズがあると思います。(4月投書)

**A** 児童館やシニアセンターでの予約図書の受け取りや返却については、各施設の通常業務への影響や図書資料の運搬経費の増大などの課題もあり、現時点での対応は困難です。なお、返却書籍を投入できる「ブックポスト」を区施設に設置することを検討してまいります。

**Q** 今後発生が予想される東海地震などでは、長周期振動が発生すると考えられています。そこで次の2点について教えてください。①区内高層ビルについてどの程度、長周期振動に耐えられるのか。②制振補強などの対策は実施されているのか。(5月投書)

**A** ①南海トラフ沿いの巨大地震に対しては倒壊までには強度的に一定の余裕があると推察されますが、相模トラフ沿いの地震などでは建設時の想定を上回る恐れもあり、国の発表などを注視しています。②制振補強などを実施した建物は少ないと推測します。

**Q** 中央区でもふるさと納税ができるようにしてほしいです。返戻品目的ではなく「もつと祭りへ」「子育て支援へ」などと使い道を指定して納税したいです。(6月投書)

**A** すでにふるさと納税として受け付けており、寄付者の希望する使い道に応じて、該当する所属で、指定のない場合は総務課で受け付けています。今年度、新たな寄付の仕組みを構築するため調査を行い、返礼品に頼らないふるさと納税を創設してまいります。

**Q** 自立支援医療の申請窓口は、平日の午後5時までしか開いておらず、通常の労働者が申請することは不可能です。日曜日に申請できるような最低限の窓口を設けるべきです。区は公務を執行しているとは思えません。(7月投書)

**A** 区民生活に関わりの深い業務については、毎週水曜日から土曜日まで、区役所の窓口時間を延長しています。障害者福祉課では、自立支援医療の申請受け付けの他、障害者手帳の手続きや手当ての申請受け付けなども行っていますので、ご利用ください。

**Q** 黎明橋通りと晴海通りで屋形船の客待ちバスの違法駐車が後を絶ちません。晴海通りでは自転車レーンをふさいで駐車しています。警察にも主張しましたが行政として何か手はないですか。(7月投書)

**A** 区から船着場を利用登録している全ての船会社に対し文書で注意するとともに、船着場協議会において周知しています。併せて繁忙期に船着場管理業務会社からバス運転手に指導をしています。再度、全ての船会社に注意を行います。

**Q** 屋外スピーカーから光化学スモッグ注意報発令について放送されましたが、アナウンスが高層マンションに反響して内容がほとんど聞き取れませんでした。アナウンスではなく内容ごとに違うメロディを数分間流すなどの放送システムが無駄にならない方法はないですか。(8月投書)

**A** 都心区としてビジネスマンションなどさまざまな方が来訪されるためメロディでは難しく、音声放送が必要で、定期的にスピーカーの向きを改善し聞き取りやすい環境に努めています。情報の確かな把握のため「緊急告知ラジオ」や「安全・安心メール」もご利用ください。

**Q** 勝どきエリアの人口増に伴い、図書館、保育園、飲食店、交通機関の充実を要望します。港区と勝どきがつながる3号線の開発やバスの2号線経由により港区などへのアクセスを充実させるなどより暮らしやすい環境へのサポートをお願いします。(9月投書)

**A** 施設の配置・利用状況などを分析・検討し、財政状況も鑑みながら公共施設の整備を進めてまいります。飲食店については、大規模再開発時に生活関連店舗を整備されるよう指導してまいります。交通環境の改善については、9月29日付けで都に要望しました。

**Q** 紹介したものの他、防災に関するもの、児童館に関するものなど、さまざまなご意見がございました。なお、区の事業以外のものについては、国や都の担当機関に依頼する場合があります。意見などの送付(問い合わせ)先

〒104-8404 中央区築地1-1-1 広報課広聴係 ☎(3546)5222 FAX(3546)2095

## 若年期からの生活習慣病予防事業

### 30・35(サンマル・サンGO)健康チェック

生涯にわたり健康な生活を送るため、30歳と35歳の方を対象に、生活習慣病予防の健康教育と健康診断を併せて行う「30・35健康チェック」を実施しています。対象者には、個別に通知を送付します。

**ママの健康チェック**  
産後の母親の健康維持やご家族の健康づくりのため、1歳未満のお子さんを持つ母親を対象に、健康教育と健康診断を併せて行う「ママの健康チェック」を実施しています。

**共通**  
日時など  
別表のとおり  
詳しくはお問い合わせください。

☎(3541)5930  
中央区保健所健康推進課 係

別表	30・35健康チェック	ママの健康チェック
実施日	平成30年1月30日(火)、2月23日(金)、3月23日(金)	
受付時間	①午前8時45分 ②午前9時 ③午前9時15分 (所要時間は2時間30分程度)	①午後1時15分 ②午後1時30分 ③午後1時45分 (所要時間は2時間30分程度)
会場	中央区保健所	
対象	[35歳] 昭和56年12月1日～昭和57年3月31日生まれ [30歳] 昭和61年12月1日～昭和62年3月31日生まれ	生後4カ月から1歳未満のお子さんの母親
内容	健康教育(食生活、お口の健康、心の健康、運動の実技) 問診・測定など(身長、体重、腹囲、血圧、骨密度)、血液検査、尿検査	健康教育(食生活、お口の健康、プレ更年期、運動の実技)
定員	45人(先着順)	35人(先着順)
託児	託児付き(定員あり、予約制)	検査時のみ託児付き(予約制)
費用	無料	1,000円
申し込み方法	電話で申し込む(30・35健康チェックは12月21日(木)から予約の受け付けを開始します)。	

◎30・35健康チェックは対象により実施時期が異なります。

## 平成29年度第2回オリンピック・パラリンピックに関する講演会

### 「パラスポーツの魅力と東京2020大会に向けて私たちにできること」

今回の講師は、日本財団パラリンピックサポートセンターで推進戦略部プロジェクトリーダーとして勤務する傍ら、パラ・パワーリフティングで東京2020大会出場を目指す、マクドナルド山本恵理さんです。



マクドナルド山本恵理さん

山本さんは、先天性の二分脊椎症により歩行が困難なため、車いすで生活しています。幼い頃からスポーツに親しみ、水泳やアイスホッケーの世界で活躍された他、過去のパラリンピックではメンタルトレーナーや通訳として大会に携わりました。

山本さんには、2020年への抱負を語っていただくとともに、パラスポーツの魅力、障害者に対する日本の現状などについて講演いただきます。この機会に、パラスポーツへの理解を深め、2020年に向けて私たちにできることを一緒に考えてみませんか。

◎当日は、手話通訳者を配置します。

**日時**  
平成30年1月26日(金)  
午後6時～7時30分(午後5時30分開場)

**会場**  
区役所8階大会議室

**対象**  
区内在住・在勤・在学者

**定員**  
100人(先着順)

**費用**  
無料

**申し込み方法**  
12月25日(月)から平成30年1月19日(金)までに電話または区のホームページの電子申請から申し込む(電話での申し込みは12月29日(金)から1月3日(水)までを除く)。

☎(3546)5313